

よちかど

創刊号
昭和61年7月1日
編集・発行事務局
荏原第一出張所
小山3-22-3
電話786-2000

区民まつり
7月26日、27日
大パレードあり
盆踊り・もぎ店

にけのこはエバラ



◆目黒はサンマ、タケノコは荏原？

◆とにかく筍は荏原にかぎる！

◆これが史実であるという。そこで本紙が◆

◆全力をあげて調べたルポをこらんださい。

小山一五十四にガアノ荏原のタケノコ

通称「タケノコの碑」のルーツという、合点

が建立されているとい

う。とにかくたづねて

みた。

途中、5人の大人に

聞いたが分からない。

ならば子供に聞くとズ

バリ「あそこだよー」

なあも当方キョロく

しているを追っかけて

きて教えてくれた。

(ありがとう)

そこには高さ一・二

メートル程の歌碑が

建っていた。碑面には

「機も榊も弥陀にまか

せて雪見かな 秋竹翁」

の谷風堀之助が横綱と

と刻まれている。これ



「ア！それはネ、

文化三年、今から百八

十年前に立てたタケノ

コの碑で

すよしの

御託宣。

坂本調査

員はマズ

たばこを一服して言い

切った。

「寛政年間(1778

95/80)スモウ

地域内最初の筍植栽地に

建立したのですよし

もうタバコはフィルタ

ーに火がつきそうだ。に並ぶ筍も、もしかして、
「そして明治以降「荏原の筍」の里帰りかもし
も本地域のタケノコ
植栽技術が全国に紹
介されたほどであつ
たというね」
荏原の筍は血統書付であ
ったのだ。我家で食す輸入
缶詰筍も孝節に八百屋さん

たというね」
荏原の筍は血統書付であ
ったのだ。我家で食す輸入
缶詰筍も孝節に八百屋さん

今号の題字は小山台一丁目二
丁目(一)さんでーた。

フアイトだフアイトだ 運動会 (後地小学校)



運動会といえは秋、と
いうのがきまりでした。が、
今年品川区では半分の小
学校が春に行いました。
そこで5月25日チョツと
後地小学校の運動会をの
ぞいて見まし
た。
すりむいて
しかめっつり
をする一年生、顔をまっ
赤にして応援する六年生、
みんなガンバリました。
勝負のゆくえは最後の紅
した。(一)

当日、わが子の晴れ姿
をビデオカメラ5台、カ
メラ数十台が追っっていま
した。
(なおタイトルは校長先
生と児童との朝の約束で

運動会といえは秋、と
いうのがきまりでした。が、
今年品川区では半分の小
学校が春に行いました。
そこで5月25日チョツと
後地小学校の運動会をの
ぞいて見まし
た。
すりむいて
しかめっつり
をする一年生、顔をまっ
赤にして応援する六年生、
みんなガンバリました。
勝負のゆくえは最後の紅
した。(一)

武蔵小山駅 昔



荏原第一出張所管内、唯

一の駅、東急目蒲線、武蔵小山・地域にあるこの駅について、助役さんにチョツと話を聞いてみました。

「いつ頃、開業しましたか？」

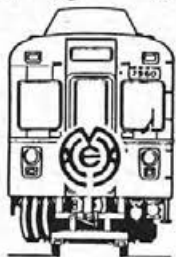
大正12年3月、目黒蒲田電鉄が目黒と丸子（現、多摩川園）の間を開業し、同年11月丸子と蒲田間が開業

いたしました。当時は小山駅といい、大正13年6月に今の武蔵小山

駅となりまし

た。

「当時の運賃はいくらでしたか？」



目黒から武蔵小山まで5

銭でした。

「ゴールデンバットが6銭、かけそばは1ぱい8510銭の時代にですネ。その

当時、駅員

さんは何名

でしたか？」

「だれもいなく、ホームだけだったのです。なにしろ全線で車掌、運転手、駅員あわせて29人しかいませんでした。電車も5両しかありませんでした。」

「では、今の武蔵小山駅の姿を教えてください？」

「駅員数は10名、乗客教1日4万2千8百人、売上1日119万円です。」

「大変な変わりようですネ。終電車発車後は無人になるのですか？」

「いえ、2名当直して、電気関係の保守などしています。安全第一ですが、誠意調和、日々無事故がスローガンの武蔵小山駅をみなさん愛してネ。」

金賞は君の手に

6月7日から6月28日の期間、荏原第一出張所ロビーで写真大会展示会が行われ、期間中約3千人の人々が鑑賞しました。この絵は5月11日の日曜日、2才がらおじいちゃんまで232名が参加し、林試の森公園で行われた地区親子写生大会の作品のうちの金銀、銅賞、入選の優

秀な作品57点なので、ソコデこんでこそは入賞を、とねらっている人のために審査にあたった後地小学校の美術の相馬洋子先生にお話を聞きました。



「入賞するコツがあれば、教えてください？」

「これであなたも金賞まちがいなし？」



荏原第一連合町会長 小牧 勇造

当荏原第一地区は、伝統的に皆が協力しあい自分達の街を大切にし、街を愛している地域であると誇りにしています。

この住み良い街を、よりふれあい豊かな街にするために、地域の情報新聞「まちかど」を発刊する運びに

なりました。

マスコミでは拾えない街の身近な情報を採り上げる地元の気さくな手作り新聞です。

この新聞に文字通り地域の話題、意見を寄せて、まちかどの心のふれあいの場にし、地域の誰もが参加出来る新聞として、親しみ育んでほしいものと思います。

まちかど 委員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|
| 福田 順一郎 | 小山台1(東) | 小山台1(西) | 小山台2(東) | 小山台2(西) | 小山台3(東) | 小山台3(西) | 小山台4(東) | 小山台4(西) | 小山台5(東) | 小山台5(西) | 小山台6(東) | 小山台6(西) | 小山台7(東) | 小山台7(西) | 小山台8(東) | 小山台8(西) | 小山台9(東) | 小山台9(西) | 小山台10(東) | 小山台10(西) | 小山台11(東) | 小山台11(西) | 小山台12(東) | 小山台12(西) | 小山台13(東) | 小山台13(西) | 小山台14(東) | 小山台14(西) | 小山台15(東) | 小山台15(西) | 小山台16(東) | 小山台16(西) | 小山台17(東) | 小山台17(西) | 小山台18(東) | 小山台18(西) | 小山台19(東) | 小山台19(西) | 小山台20(東) | 小山台20(西) | 小山台21(東) | 小山台21(西) | 小山台22(東) | 小山台22(西) | 小山台23(東) | 小山台23(西) | 小山台24(東) | 小山台24(西) | 小山台25(東) | 小山台25(西) | 小山台26(東) | 小山台26(西) | 小山台27(東) | 小山台27(西) | 小山台28(東) | 小山台28(西) | 小山台29(東) | 小山台29(西) | 小山台30(東) | 小山台30(西) | 小山台31(東) | 小山台31(西) | 小山台32(東) | 小山台32(西) | 小山台33(東) | 小山台33(西) | 小山台34(東) | 小山台34(西) | 小山台35(東) | 小山台35(西) | 小山台36(東) | 小山台36(西) | 小山台37(東) | 小山台37(西) | 小山台38(東) | 小山台38(西) | 小山台39(東) | 小山台39(西) | 小山台40(東) | 小山台40(西) | 小山台41(東) | 小山台41(西) | 小山台42(東) | 小山台42(西) | 小山台43(東) | 小山台43(西) | 小山台44(東) | 小山台44(西) | 小山台45(東) | 小山台45(西) | 小山台46(東) | 小山台46(西) | 小山台47(東) | 小山台47(西) | 小山台48(東) | 小山台48(西) | 小山台49(東) | 小山台49(西) | 小山台50(東) | 小山台50(西) | 小山台51(東) | 小山台51(西) | 小山台52(東) | 小山台52(西) | 小山台53(東) | 小山台53(西) | 小山台54(東) | 小山台54(西) | 小山台55(東) | 小山台55(西) | 小山台56(東) | 小山台56(西) | 小山台57(東) | 小山台57(西) | 小山台58(東) | 小山台58(西) | 小山台59(東) | 小山台59(西) | 小山台60(東) | 小山台60(西) | 小山台61(東) | 小山台61(西) | 小山台62(東) | 小山台62(西) | 小山台63(東) | 小山台63(西) | 小山台64(東) | 小山台64(西) | 小山台65(東) | 小山台65(西) | 小山台66(東) | 小山台66(西) | 小山台67(東) | 小山台67(西) | 小山台68(東) | 小山台68(西) | 小山台69(東) | 小山台69(西) | 小山台70(東) | 小山台70(西) | 小山台71(東) | 小山台71(西) | 小山台72(東) | 小山台72(西) | 小山台73(東) | 小山台73(西) | 小山台74(東) | 小山台74(西) | 小山台75(東) | 小山台75(西) | 小山台76(東) | 小山台76(西) | 小山台77(東) | 小山台77(西) | 小山台78(東) | 小山台78(西) | 小山台79(東) | 小山台79(西) | 小山台80(東) | 小山台80(西) | 小山台81(東) | 小山台81(西) | 小山台82(東) | 小山台82(西) | 小山台83(東) | 小山台83(西) | 小山台84(東) | 小山台84(西) | 小山台85(東) | 小山台85(西) | 小山台86(東) | 小山台86(西) | 小山台87(東) | 小山台87(西) | 小山台88(東) | 小山台88(西) | 小山台89(東) | 小山台89(西) | 小山台90(東) | 小山台90(西) | 小山台91(東) | 小山台91(西) | 小山台92(東) | 小山台92(西) | 小山台93(東) | 小山台93(西) | 小山台94(東) | 小山台94(西) | 小山台95(東) | 小山台95(西) | 小山台96(東) | 小山台96(西) | 小山台97(東) | 小山台97(西) | 小山台98(東) | 小山台98(西) | 小山台99(東) | 小山台99(西) | 小山台100(東) | 小山台100(西) |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|



よちか

消えた？ 学校

当地域の五〇才代の中に「私は中原小学校卒業です」と云う人が多い。
現在の荏原第一中学校の場所にあった小学校という。
今回は、ましかと特捜記者が消えた学校を追跡したルポを伝えます。

虫歯になった歯医者さん。困った時には歴史館。と早速走る。前回お世話になったノツボの坂本さんをたづねる。
昭和一八年七月五日発行とある。その五三七頁をひらくと、アツタ。
東京市中原国民学校
位置 荏原丁目三〇三番地
電話 六〇八二番
開校 昭和十二年九月一日
校地 一八四〇坪
校舎 七八三坪
普通教室 二〇
特別教室 二
職員 十七名
児童 八一八名
学級数 十五

アア！その学校なり当時中原小学校の教師で、現在目黒区社会教育課で研究している長沢先生がくわしいよ！。歴史館に当時の学童疎開の資料を寄贈していた人ですよ。
と云いながら出てく水本「荏原区史」なる一冊。

第 2 号
昭和61年10月1日
編集・発行事務局
荏原第一出張所
小山3-22-3
電話786-2000

防災訓練
昭和61年10月5日
午前9時～
林試の森
おみやげアリ

タイトルは
小山台1-2-10
橋 トミさんの作品です

アトは長沢先生をたづねることにする。

「アア！なつかしい。というより話せばキリがありません！。とメガネの奥をしばたせる。

「開校式は、京陽尋常小学校から五年生以下約四〇〇名、後地尋常小から約三〇〇名、平塚尋常小から一九七名の計約九〇〇名。鋤木徳太郎校長以下一九名の教職員で、中原尋常小学校の開校式を行いました。

時代はこの年七月に、蘆溝橋事件がおきた年でありましたネ！。

昭和十六年四月には国民学校令によって、中原国民学校に改まり、国語初等科教科書は「サイタ サイタ サクラガサイタ」が「アカイ アカイ アサヒ」になりました。

後近く、昼食用湯沸し煙突から火災になり、児童は整然と避難し、夕刊には「平素の訓練により全員無事」と報じられました。
学校隣りの皮革工場の社長、田中謙氏は、火災にあった児童のためにプール建設費三千元を寄付され、荏原区唯一のプールのある学校となって、競泳大会では中原小学校は強いぶん強かったものです。

学童疎開は二次にわたる行い、第一次は一年生を除いた二八八名が参加しました。八月二十一日に出発し、疎開先は静岡県富士郡岩松村の実相寺、瑞林寺及び鷹岡町一番寺です。



村の生活では、青年団がおしるこを差入れてくれたり、村人達はみかんを持ってきてくれたりし、床屋さんは学童の理髪に奉仕してくれたり、皆さん親切にしていたら、大変お世話になりました。

昭和十九年六月に米軍がサイパン島に上陸するにあたり、都は急ぎ東京疎開を実施することになり、中原小学校でも緊急保護者を会を開き、学童の集団疎開に参加するよう呼びかけました。

その後戦局の変化によつ

校章
昭和12年10月4日制定
火事とプール
昭和十三年六月二日、正

て静岡県の疎開児童はすべて青森県に移ることになり二十年六月二十九日、再疎開臨時列車で再疎開地の石川村に行きました。

車中の四〇時間は長く、

四食分用意した弁当は痛み始め、食中毒をおこす児童が繰出したり、子供が静岡で可愛がっていた虎をカゴに入れたつれていたが、途中死んでしまい、ある駅の引込線で一時停車した際、線路わきの土手に穴掘って首で埋葬したことがありました。

第二次疎開は、富山県婦負郡婦中町の妙宗寺、万芸寺、覚法寺に、児童九〇名職員八名が参加しました。

終戦となり二十年十月二十一日夕刻、疎開地から帰京し武蔵小山駅に立った時、子供達は茫々と続く焼野原にげんなり顔で立っていました。学校は二十年五月二十一日の空襲で焼失してしまいました。



後地小学校の教室を借りて授業を開始したものの、中原小学校は廃校と決まり二十一年三月二十五日最後の修了式、卒業式、廃校式を行いました。



卒業生 七二名

修業児童 二六九名

五年生以下の児童はその

住所によってそれぞれ京陽

後地小学校へ転校すること

になりました。そして一、二

六〇名の中原小学校卒業

生名簿を、後地小学校に託

し中原小学校は八年七か月の歴史を閉じました。

日支事変に生まれ、終戦

に消えた中原小学校は、今は跡形もありません。

黙とう！、ガスン

まちの日程

10月5日(日)

荏原第一地区防災訓練
(林試の森)

11月16日(日)

荏原第一地区委員会
親子ハイキング
三浦半島 みがん狩り
地引あみ

10月3日(金)

荏原一中 運動会

10月5日(日)

小山台小・平塚小運動会

荏原六中 運動会

10月26日(日)

平塚小 開校記念日

11月5日(水)

荏原六中学習成果発表会

11月7・8日(金・土)

後地小 学芸会

11月7日(金)

小山台小 展覧会

11月8日(土)

小山小 60周年記念式典

11月8日(土)

小山小 開校記念日

11月19日(水)

荏原一中学習成果発表会

11月27・28日(木・金)

小山小 学芸会

11月28・29日(金・土)

平塚小 展覧会

まちかど

五七五

梅雨やえを
忘れ「まちかど」
読みふける

「まちかど」の
ニュース聞かせる

額の花
ニユース聞かせる

(荏原一 吉田 健治)

ごき寝して
団扇持つ手の
眠りけり

(荏原三 土田 直翁)

飛び来て鳴けり
朝の蝉

(荏原三 佐藤チネ女)

半眠の
仏にそよ風

蟬しぐ水

(荏原三 村田和歌女)

空に咲く
五秒の花や

屋形船

(荏原三 戸田 芳)

鉄砲百合
花むきくに

好むまま

(荏原三 山田 静香)

門燈に
飛び来て鳴けり

朝の蝉

(荏原三 佐藤チネ女)

集後記

「まちかど」
第2号をおとど
けします。▼松

谷 清太郎さん

はげましのお手紙、また俳

句のみなさん、ともにあり

がとうございました。▼創

刊号「荏原の旬」では「戸

越の旬」と云ったのではな

いか？との御指摘がありま

した。荏原の、戸越の、目

黒の旬という記録が残って

います。「まちかど」では

荏原郡であること、そして

現在の所在地から取ったも

荏原一中 合唱クラブ 快挙

荏原一中の合唱クラ
ブ(田中裕子先生指導)
は6月の東京地区大会
で見事一位になり、来
たる十一月九日虎の門
ホールでの関東地区大
会に進みます。
四十九名の部員は毎
日「若葉」来年は海へ
いこうと特訓中です。
「まちかど」読者一石
三千人が応援して下さ